

2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年5月13日

上場会社名 タメニー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6181 URL <https://tameny.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊東 大輔
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 宮川 葉子 TEL 03-5759-2700
 定時株主総会開催予定日 2026年6月24日 配当支払開始予定日 -
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月23日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期の業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

（1）経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	6,036	2.2	81	—	32	—	△220	—
2025年3月期	5,909	5.5	△56	—	△99	—	△848	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	△7.37	—	△100.6	0.7	1.3
2025年3月期	△32.25	—	—	△2.4	△1.0

（参考）持分法投資損益 2026年3月期 -百万円 2025年3月期 -百万円

（注）潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	5,108	1,134	22.2	25.22
2025年3月期	3,589	△694	△19.4	△26.39

（参考）自己資本 2026年3月期 1,134百万円 2025年3月期 △694百万円

（3）キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	122	△259	1,876	3,115
2025年3月期	269	△99	△485	1,375

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	2,700	△2.5	△73	—	△110	—	△112	—	△2.49
通期	6,200	2.7	400	391.9	325	907.6	322	—	7.16

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期	44,968,700株	2025年3月期	26,328,700株
② 期末自己株式数	2026年3月期	129株	2025年3月期	129株
③ 期中平均株式数	2026年3月期	29,979,771株	2025年3月期	26,316,416株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	5
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	5
(4) 今後の見通し	6
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
3. 財務諸表及び主な注記	7
(1) 貸借対照表	7
(2) 損益計算書	9
(3) 株主資本等変動計算書	11
(4) キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(会計上の見積りの変更に関する注記)	15
(表示方法の変更)	15
(持分法損益等の注記)	15
(セグメント情報等の注記)	16
(1株当たり情報の注記)	21

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社は、「よりよい人生をつくる。」という企業理念と、「創造する力とおもいやり、おもてなしで、人々の心を満たし、活力ある社会の実現を支えます。」という存在意義（パーパス）のもと、婚活事業、カジュアルウェディング事業、地方創生/QOL (Quality of life) 事業を展開しています。

2026年3月期（以下、「当期」）については、カジュアルウェディング事業及び地方創生/QOL事業が好調に推移し、売上高は6,036百万円（前期比2.2%増）、営業利益は81百万円（前期は営業損失56百万円）となりました。また、営業外費用に支払利息49百万円等を計上したことで経常利益は32百万円（同 経常損失99百万円）、特別損失に減損損失291百万円及び移転損失引当金繰入額17百万円を計上するとともに、法人税等調整額（△は益）△47百万円を計上したことで当期純損失は220百万円（同 当期純損失848百万円）となりました。

なお、当期末の純資産は、2025年8月及び2026年2月に第三者割当増資を実施したことで1,134百万円となりました。

当社の報告セグメントごとの概況は次のとおりです。

(婚活事業)

婚活事業については、付加価値の高い結婚相談所「パートナーエージェント」、婚活パーティー「OTOCON」、マッチングプラットフォーム「CONNECT-ship」等を展開しています。

当期は、結婚相談所の新規入会者数や在籍会員数が想定を下回り推移するなか、AIフュージョンキャピタルグループ株式会社および株式会社IBJと資本業務提携を締結し、事業全体の抜本的な見直しに着手しました。これにより、今後は集客、営業、サービス品質のいずれも改善が進展していく見込みではありますが、移行期となる当期の売上高は1,935百万円（前期比7.3%減）となりました。また、営業利益は拠点統合および移転に伴う減価償却費の一時的な増加もあり200百万円（同 39.2%減）となりました。

<同事業の主要指標>

	2025年3月期	2026年3月期		
	通期	通期	前期増減	前期比
新規入会者数	3,765名	3,387名	△378名	△10.0%
成婚退会者数	1,566名	1,382名	△184名	△11.7%
成婚率	20.1%	18.7%	△1.4pt	—
在籍会員数（期末）	7,502名	7,450名	△52名	△0.7%
パーティー開催数	2,918回	4,121回	+1,203回	+41.2%
パーティー参加者数	30,602名	42,048名	+11,446名	+37.4%
CONNECT-ship 利用会員数（期末）	25,701名	20,843名	△4,858名	△18.9%
CONNECT-ship お見合い成立件数	196,681件	148,556件	△48,125件	△24.5%
CONNECT-ship 利用事業者数	12社	12社	—	—

(注) 1. 成婚とは、当社のサービスを利用して知り合った会員同士が、結婚を視野に入れ交際を継続していくことをいい、当社が成婚の意向を双方の会員から確認した場合に、当該会員は成婚退会することになります。

2. 成婚率とは、在籍会員中何名の会員が成婚退会しているか、その割合を示すものです。具体的には、成婚率は毎年4月1日から翌年3月末までを計算期間とし、以下の計算式にて算出しています。

(計算式) 「年間成婚退会者数」÷「年間平均在籍会員数」

3. 成婚率は、小数点第二位を四捨五入しています。

4. 上表のCONNECT-ship利用会員数（期末）は、当社結婚相談所の利用会員数を含んでいます。

(カジュアルウェディング事業)

カジュアルウェディング事業については、挙式披露宴・少人数挙式等のプロデュースを行う「スマ婚シリーズ（施行単価 約200万円）」及び「ラフスタ（同 約100万円）」、高品質なフォトウェディングのプロデュースを行う「LUMINOUS（同 約30万円）」、結婚式二次会のプロデュースを行う「2次会くん（同 約50万円）」を展開しています。

当期は、挙式披露宴・少人数挙式等の施行件数が809件（前期比 21.8%）と好調に推移し、また、フォトウェディングの施行件数が4,556件（同4.9%減）と前期水準を堅持しました。なお、いずれのサービスも施行単価が上昇したこともあり増収増益となりました。一方、結婚式二次会は市場の需要減少により施行件数が1,203件（同18.8%減）となりました。

これらにより、当期の売上高は3,621百万円（同 5.8%増）、営業利益は303百万円（同 1,515.7%増）となりました。

<同事業の主要指標>

	2025年3月期	2026年3月期		
	通期	通期	前期増減	前期比
成約件数合計	7,639件	6,731件	△908件	△11.9%
挙式披露宴・少人数挙式等	929件	972件	+43件	+4.6%
フォトウェディング	5,121件	4,649件	△472件	△9.2%
結婚式二次会	1,589件	1,110件	△479件	△30.1%
施行件数合計	6,935件	6,568件	△367件	△5.3%
挙式披露宴・少人数挙式等	664件	809件	+145件	+21.8%
フォトウェディング	4,790件	4,556件	△234件	△4.9%
結婚式二次会	1,481件	1,203件	△278件	△18.8%

(地方創生/QOL事業)

地方創生/QOL事業については、地方自治体向け婚活支援（婚活支援システム「parms」の提供、婚活支援センターの運営、各種イベント・セミナーの開催等）と、当社顧客の生活品質向上に資するサービスの提供を行っています。

当期は、地方創生分野で積極的な受注活動により、北海道、宮城県、秋田県、茨城県、東京都、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県等から各種婚活支援を受託しました。なお、次期の受注活動も好調に進捗しており、すでに北海道、北海道札幌市、愛知県、京都府、兵庫県より婚活支援センターの運営を受託しました。また、QOL分野では、保険販売の新規契約証券数が470件（前期比5.4%増）となり、併せて下半期よりエンゲージリングやマリッジリングの販売も開始しました。

これらにより、売上高は502百万円（同 18.9%増）、営業利益は84百万円（同 14.7%増）となりました。

<同事業の主要指標>

	2025年3月期	2026年3月期		
	通期	通期	前期増減	前期比
(地方創生分野)				
婚活支援システム 提供都道府県(期末)	14都道府県・市	14都道府県・市	—	—
婚活支援センター運営 受託都道府県(期末)	8都道府県・市	8都道府県・市	—	—
イベント・セミナー 受託件数	26件	29件	+3件	+11.5%
(QOL分野)				
QOLサイト登録者数	5.7万人	6.3万人	+0.5万人	+10.3%
QOL取り扱いサービス数	70サービス	79サービス	+9サービス	+12.9%
新規保険契約証券数	446件	470件	+24件	+5.4%

(注) 上表の婚活支援システム提供先は受注時点、婚活支援センター運営数は運営開始時点です。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末の総資産は、前事業年度末に比べ1,519百万円増加し、5,108百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ1,834百万円増加し、4,126百万円となりました。主な要因は、現金及び預金1,739百万円の増加、売掛金65百万円の増加及び1年内返還予定の敷金27百万円の増加によるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べ315百万円減少し、982百万円となりました。主な要因は、ソフトウェア127百万円の減少、建物(純額)117百万円の減少及び敷金53百万円の減少によるものです。

(負債)

当事業年度末の負債は、前事業年度末に比べ309百万円減少し、3,974百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ575百万円増加し、2,919百万円となりました。主な要因は、1年内返済予定の長期借入金740百万円の増加、預り金85百万円の減少及び短期借入金49百万円の減少によるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べ885百万円減少し、1,055百万円となりました。主な要因は、長期借入金861百万円の減少、資産除去債務(固)13百万円の減少及び繰延税金負債(固)10百万円の減少によるものです。

(純資産)

当事業年度末の純資産は、前事業年度末に比べ1,828百万円増加し、1,134百万円となりました。主な要因は、その他資本剰余金1,247百万円の増加及び利益剰余金580百万円の増加によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は3,115百万円(前期比126.4%増)となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、122百万円(前期は269百万円の収入)となりました。これは主に、税引前当期純損失264百万円、減損損失291百万円及び減価償却費252百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、259百万円(前期は99百万円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出125百万円及び無形固定資産の取得による支出82百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、1,876百万円(前期は485百万円の支出)となりました。これは主に、株式発行による収入2,049百万円及び長期借入金の返済による支出120百万円によるものです。

(4) 今後の見通し

2027年3月期の業績予想については、物価上昇に伴う個人消費の低迷などが当社業績に一定程度影響を及ぼす可能性があることを前提に、下表のとおりとしております。

<2027年3月期業績予想>

	2026年3月期	2027年3月期				
	通期	上半期	下半期	通期	前期増減	前期比
売上高	6,036百万円	2,700百万円	3,500百万円	6,200百万円	+163百万円	+2.7%
営業利益	81百万円	△73百万円	473百万円	400百万円	+318百万円	+391.9%
経常利益	32百万円	△110百万円	435百万円	325百万円	+292百万円	+907.6%
当期純利益	△220百万円	△112百万円	434百万円	322百万円	+542百万円	—

婚活事業については、前期にAIフュージョンキャピタルグループ株式会社および株式会社IBJと資本業務提携を締結し、事業全体の抜本的な見直しを行い、結婚相談所では成婚を軸とした各種取り組みを進めるとともに、婚活パーティーでは結婚相談所の入会導線としての役割を強化することで、事業指標の改善および収益の拡大を図っていきます。なお、販売費及び一般管理費においては、前期の固定資産の減損により減価償却費が減少し、拠点統合および移転により地代家賃が減少する見込みです。カジュアルウェディング事業については、挙式披露宴・少人数挙式等やフォトウェディングの受注活動が堅調に推移しており、引き続き増収増益を見込んでいますが、さらなる収益の拡大に向けて新たな顧客層の獲得を目指していきます。

また、主要な事業指標としては、婚活事業で新規入会者数3,469名（前期比2.4%増）、成婚退会者数1,504名（同 8.8%増）、カジュアルウェディング事業で挙式披露宴・少人数挙式等の施行件数884件（同 9.3%増）、フォトウェディングの施行件数4,357件（同 4.4%減）を見込んでいます。

なお、「第二次中期経営計画」の2027年3月期業績目標（2025年5月15日公表）については、現状を踏まえて売上高6,200百万円（前回公表値7,497百万円）、営業利益400百万円（同 669百万円）へ修正しています。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,375,950	3,115,059
売掛金	782,889	848,873
貯蔵品	1,647	1,170
前払金	6,550	13,288
前払費用	118,018	109,613
その他	39,486	75,078
貸倒引当金	△32,511	△36,366
流動資産合計	2,292,032	4,126,716
固定資産		
有形固定資産		
建物	805,270	662,566
減価償却累計額	△354,004	△329,181
建物（純額）	451,265	333,384
工具、器具及び備品	240,755	234,220
減価償却累計額	△220,215	△199,961
工具、器具及び備品（純額）	20,539	34,258
その他	60,059	40,094
減価償却累計額	△58,231	△40,094
その他（純額）	1,828	—
有形固定資産合計	473,633	367,643
無形固定資産		
のれん	202,722	168,935
ソフトウェア	215,794	88,626
ソフトウェア仮勘定	59,394	15,844
商標権	3,624	3,124
無形固定資産合計	481,535	276,531
投資その他の資産		
関係会社株式	5,000	5,000
長期貸付金	127,664	127,664
長期前払費用	—	11,796
繰延税金資産	—	36,998
敷金	337,378	284,303
貸倒引当金	△127,664	△127,664
投資その他の資産合計	342,378	338,098
固定資産合計	1,297,547	982,273
資産合計	3,589,579	5,108,990

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	166,842	126,130
短期借入金	705,134	655,167
1年内返済予定の長期借入金	1,011,342	1,751,479
未払金	160,603	171,174
未払消費税等	25,918	23,284
未払法人税等	3,509	3,497
未払費用	20,396	22,338
リース債務	2,010	—
預り金	91,969	6,808
前受金	126,287	105,879
資産除去債務	4,587	13,434
その他の引当金	—	17,447
その他	25,489	23,141
流動負債合計	2,344,093	2,919,785
固定負債		
長期借入金	1,687,576	826,469
資産除去債務	242,388	228,726
繰延税金負債	10,399	—
固定負債合計	1,940,364	1,055,195
負債合計	4,284,458	3,974,981
純資産の部		
株主資本		
資本金	46,532	50,000
資本剰余金		
資本準備金	2,532	—
その他資本剰余金	101,355	1,349,040
資本剰余金合計	103,887	1,349,040
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△845,240	△264,971
利益剰余金合計	△845,240	△264,971
自己株式	△59	△59
株主資本合計	△694,878	1,134,009
純資産合計	△694,878	1,134,009
負債純資産合計	3,589,579	5,108,990

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	5,909,037	6,036,249
売上原価	1,902,247	1,976,968
売上総利益	4,006,789	4,059,280
販売費及び一般管理費	4,062,997	3,977,968
営業利益又は営業損失 (△)	△56,207	81,312
営業外収益		
受取利息	1,910	4,317
その他	151	558
営業外収益合計	2,062	4,876
営業外費用		
支払利息	44,790	49,337
支払手数料	69	4,529
その他	535	68
営業外費用合計	45,395	53,935
経常利益又は経常損失 (△)	△99,541	32,253
特別利益		
債務消滅益	—	12,208
特別利益合計	—	12,208
特別損失		
減損損失	718,337	291,898
その他	—	17,447
特別損失合計	718,337	309,346
税引前当期純損失 (△)	△817,878	△264,884
法人税、住民税及び事業税	3,509	3,497
法人税等調整額	27,321	△47,397
法人税等合計	30,830	△43,900
当期純損失 (△)	△848,709	△220,984

売上原価明細書

区分	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)		当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
婚礼会場費	671,513	35.3	709,374	35.9
婚礼・フォトスタジオ衣装費	388,025	20.4	311,695	15.8
その他	842,708	44.3	955,899	48.3
売上原価	1,902,247	100.0	1,976,968	100.0

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金			利益剰余金	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	44,402	402	101,355	101,757	3,469	3,469
当期変動額						
新株の発行 (新株 予約権の行使)	2,130	2,130	—	2,130	—	—
新株の発行	—	—	—	—	—	—
減資	—	—	—	—	—	—
欠損填補	—	—	—	—	—	—
当期純損失 (△)	—	—	—	—	△848,709	△848,709
株主資本以外の項 目の当期変動額 (純額)	—	—	—	—	—	—
当期変動額合計	2,130	2,130	—	2,130	△848,709	△848,709
当期末残高	46,532	2,532	101,355	103,887	△845,240	△845,240

	株主資本		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	△59	149,569	149,569
当期変動額			
新株の発行 (新株 予約権の行使)	—	4,261	4,261
新株の発行	—	—	—
減資	—	—	—
欠損填補	—	—	—
当期純損失 (△)	—	△848,709	△848,709
株主資本以外の項 目の当期変動額 (純額)	—	—	—
当期変動額合計	—	△844,448	△844,448
当期末残高	△59	△694,878	△694,878

当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金			利益剰余金	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	46,532	2,532	101,355	103,887	△845,240	△845,240
当期変動額						
新株の発行 (新株 予約権の行使)	—	—	—	—	—	—
新株の発行	1,024,936	1,024,936	—	1,024,936	—	—
減資	△1,021,468	△1,027,468	2,048,937	1,021,468	—	—
欠損填補	—	—	△801,252	△801,252	801,252	801,252
当期純損失 (△)	—	—	—	—	△220,984	△220,984
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	—	—	—	—	—	—
当期変動額合計	3,467	△2,532	1,247,684	1,245,152	580,268	580,268
当期末残高	50,000	—	1,349,040	1,349,040	△264,971	△264,971

	株主資本		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	△59	△694,878	△694,878
当期変動額			
新株の発行 (新株 予約権の行使)	—	—	—
新株の発行	—	2,049,872	2,049,872
減資	—	—	—
欠損填補	—	—	—
当期純損失 (△)	—	△220,984	△220,984
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	—	—	—
当期変動額合計	—	1,828,887	1,828,887
当期末残高	△59	1,134,009	1,134,009

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純損失 (△)	△817,878	△264,884
減価償却費	215,834	252,997
のれん償却額	152,878	33,787
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	105	3,855
移転損失引当金の増減額 (△は減少)	—	17,447
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△812	—
受取利息	△1,910	△4,317
支払利息	44,790	49,337
減損損失	718,337	291,898
営業外支払手数料	69	4,529
債務消滅益	—	△12,208
売上債権の増減額 (△は増加)	△64,092	△66,011
棚卸資産の増減額 (△は増加)	339	476
前払費用の増減額 (△は増加)	△384	△6,696
前払金の増減額 (△は増加)	2,832	△6,737
仕入債務の増減額 (△は減少)	19,080	△40,712
未払金の増減額 (△は減少)	22,501	27,088
未払費用の増減額 (△は減少)	△13,812	△1,160
預り金の増減額 (△は減少)	68,803	△84,649
預け金の増減額 (△は増加)	96	△5,138
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△24,520	△2,633
前受金の増減額 (△は減少)	3,324	△20,407
その他	△9,923	9,779
小計	315,657	175,639
利息の受取額	1,910	4,317
利息の支払額	△44,790	△49,337
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△3,643	△3,942
営業外支払手数料の支払額	△69	△4,529
営業活動によるキャッシュ・フロー	269,064	122,148

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△47,444	△125,932
無形固定資産の取得による支出	△67,857	△82,298
有価証券の償還による収入	30,000	—
資産除去債務の履行による支出	△1,215	△77,118
敷金の差入による支出	△12,535	△29,415
敷金の回収による収入	—	54,802
その他	—	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△99,053	△259,962
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△137,940	△49,967
長期借入金の返済による支出	△345,286	△120,970
リース債務の返済による支出	△6,647	△2,010
新株予約権の行使による株式の発行による収入	4,261	—
株式の発行による収入	—	2,049,872
財務活動によるキャッシュ・フロー	△485,613	1,876,922
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△315,603	1,739,108
現金及び現金同等物の期首残高	1,691,554	1,375,950
現金及び現金同等物の期末残高	1,375,950	3,115,059

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更に関する注記)

資産除去債務の見積りの変更

当事業年度において、当社の不動産賃貸契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務について、退去時に必要とされる原状回復費用の新たな情報の入手に伴い、見積りの変更を行いました。

この見積りの変更による増加額18,590千円を変更前の資産除去債務残高に加算するとともに、同時に計上した有形固定資産について18,212千円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

(表示方法の変更)

(損益計算書関係)

前事業年度において計上されておられませんでした「債務消滅益」は、当事業年度において重要性が増したため、独立掲記することといたしました。なお、前事業年度の財務諸表において、当該科目に対応する金額はございません。

(持分法損益等の注記)

非連結子会社がありますが、損益及び利益剰余金から見て重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社は、主たる事業内容別に「婚活事業」、「カジュアルウェディング事業」、「地方創生/QOL事業」に分類し、当該事業を報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属するサービスの種類

各報告セグメントに属する主要なサービス等は、それぞれ次のとおりです。

報告セグメント	主要サービス等
婚活事業	付加価値の高い結婚相談所の運営、婚活パーティーの企画開発及び運営、オンライン婚活サービス（アプリ完結型結婚相談所等）の企画開発及び運営、婚活事業者間の相互会員紹介プラットフォームの展開等
カジュアルウェディング事業	カジュアルな挙式披露宴、少人数挙式、挙式お披露目パーティー、フォトウェディング、結婚式二次会のプロデュース等
地方創生/QOL (Quality of life) 事業	地方自治体向け婚活支援（婚活支援システムの提供、婚活支援センターの運営、各種イベント・セミナーの開催等）、当社顧客の生活品質向上に資するサービス（保険販売、金融・不動産紹介等）の提供等

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、（重要な会計方針）における記載と概ね同一です。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値です。

セグメント間の内部利益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報
前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	財務諸表 計上額 (注) 2
	婚活事業	カジュアル ウェディング 事業	地方創生/QOL 事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	2,078,400	3,418,804	411,832	5,909,037	—	5,909,037
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,078,400	3,418,804	411,832	5,909,037	—	5,909,037
セグメント間の内部売上高又は振替高	8,680	3,684	10,685	23,050	△23,050	—
計	2,087,080	3,422,489	422,517	5,932,087	△23,050	5,909,037
セグメント利益又は損失 (△)	330,478	18,765	73,579	422,823	△479,031	△56,207
セグメント資産	770,680	852,574	413,590	2,036,844	1,552,734	3,589,579
その他の項目						
減価償却費	106,638	76,403	17,421	200,463	15,370	215,834
のれん償却額	—	152,878	—	152,878	—	152,878
有形固定資産及び無形固定資産の増減額	△75,889	△930,273	496	△1,005,666	14,172	△991,493

(注) 1. 調整額は以下のとおりです。

- (1) セグメント利益又は損失 (△) の調整額△479,031千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用の主な内容は、報告セグメントに帰属しない一般管理費です。
- (2) セグメント資産の調整額1,552,734千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産です。全社資産の主な内容は、余剰運用資金 (現金及び預金) 及び管理部門に係る資産等です。
- (3) その他の項目の調整額29,542千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産の増減額及びその減価償却費です。全社資産の増減額の主な内容は、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る資産等です。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、財務諸表の営業損失と調整を行っております。

当事業年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	財務諸表 計上額 (注) 2
	婚活事業	カジュアル ウェディング 事業	地方創生/QOL 事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	1,929,412	3,617,370	489,467	6,036,249	—	6,036,249
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,929,412	3,617,370	489,467	6,036,249	—	6,036,249
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,089	4,346	13,075	23,511	△23,511	—
計	1,935,501	3,621,717	502,542	6,059,761	△23,511	6,036,249
セグメント利益又は損失(△)	200,861	303,200	84,363	588,425	△507,113	81,312
セグメント資産	521,357	758,907	500,056	1,780,322	3,328,667	5,108,990
その他の項目						
減価償却費	132,440	75,554	19,951	227,946	25,050	252,997
のれん償却額	—	33,787	—	33,787	—	33,787
有形固定資産及び無形固定資産の増減額	△219,183	△84,384	1,347	△302,219	△8,774	△310,994

(注) 1. 調整額は以下のとおりです。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△507,113千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用の主な内容は、報告セグメントに帰属しない一般管理費です。
- (2) セグメント資産の調整額3,328,667千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産です。全社資産の主な内容は、余剰運用資金(現金及び預金)及び管理部門に係る資産等です。
- (3) その他の項目の調整額16,276千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産の増減額及びその減価償却費です。全社資産の増減額の主な内容は、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る資産等です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、財務諸表の営業損失と調整を行っております。

【関連情報】

前事業年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

当社は、製品・サービスの種類を基礎として報告セグメントを構成しており、詳細については「セグメント情報」3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報の「外部顧客への売上高」に記載のとおりです。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当事業年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

当社は、製品・サービスの種類を基礎として報告セグメントを構成しており、詳細については「セグメント情報」3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報の「外部顧客への売上高」に記載のとおりです。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前事業年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	財務諸表計上額
	婚活事業	カジュアルウェディング事業	地方創生/QOL事業	計		
減損損失	—	718,337	—	718,337	—	718,337

当事業年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	財務諸表計上額
	婚活事業	カジュアルウェディング事業	地方創生/QOL事業	計		
減損損失	260,329	—	—	260,329	31,568	291,898

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前事業年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額	財務諸表 計上額
	婚活事業	カジュアル ウェディング 事業	地方創生/QOL 事業	計		
当期償却額	—	152,878	—	152,878	—	152,878
当期末残高	—	202,722	—	202,722	—	202,722

（注）カジュアルウェディング事業において、のれんの減損損失を714,546千円計上しております。

当事業年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額	財務諸表 計上額
	婚活事業	カジュアル ウェディング 事業	地方創生/QOL 事業	計		
当期償却額	—	33,787	—	33,787	—	33,787
当期末残高	—	168,935	—	168,935	—	168,935

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報の注記)

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	△26.39円	25.22円
1株当たり当期純損失(△)	△32.25円	△7.37円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	－円	－円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	△694,878	1,134,009
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	－	－
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	△694,878	1,134,009
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	26,328,571	44,968,571

3. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
(1) 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失		
当期純損失(△)(千円)	△848,709	△220,984
普通株主に帰属しない金額(千円)	－	－
普通株式に係る当期純損失(△)(千円)	△848,709	△220,984
期中平均株式数(株)	26,316,416	29,979,771
(2) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額(千円)	－	－
普通株式増加数(株)	－	－
(うち新株予約権)(株)	(－)	(－)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	－	－